



始めるなら今！ 『ウマ娘 プリティーダービー』の4周年

他にも、4月からTB S系列で毎週日曜16時30分から放送を予定しているアニメ「ウマ娘 シンデレラグレイ」の最新情報や、『ウマ娘』のライブイベント「6th EVENT The New Frontier」の出演者情報など、様々な情報が発表されコンテンツ全体に注目が集まっています。

ゲーム『ウマ娘 プリティーダービー』は2025年2月24日よりリリース4周年を迎えました。4周年を記念して放送された「ばかライブTV vol.50」では、シルク・ホースクラブのアーモンドアイや同時に活躍したラッキョーライラック、グランアレグリアなど新ウマ娘の登場が発表され、彼女たちの活躍、今後の展開に多くの方が期待を寄せています。

『ウマ娘』と聞いて、皆さんが思い浮かべるのは「ウマ娘をトレーニングしてレースに挑戦する」育成シミュレーションゲームというゲームシステムかと思えます。プレイする際には1人のウマ娘のみを育てるだけでなく、登場する様々なウマ娘を育て、その育成したウマ娘の「想い」を次に育てるウマ娘に継承させることで、さらに強いウマ娘を育成する、これを繰り返していくことが『ウマ娘』のゲームの基本です。

「ウマ娘」と聞いて、皆さんが思い浮かべるのは「ウマ娘をトレーニングしてレースに挑戦する」育成シミュレーションゲームというゲームシステムかと思えます。プレイする際には1人のウマ娘のみを育てるだけでなく、登場する様々なウマ娘を育て、その育成したウマ娘の「想い」を次に育てるウマ娘に継承させることで、さらに強いウマ娘を育成する、これを繰り返していくことが『ウマ娘』のゲームの基本です。



「育成」画面より



「因子継承」画面より



「因子継承」画面より

2024年12月号でご説明したように、この競馬の血統に例えられることもある「想い」の継承は、因子継承と呼ばれ、それぞれのウマ娘が保有する因子を育てるウマ娘に継承させる、というもので、自分好みの因子を持ったウマ娘を育てるためには、多くのウマ娘を育てる必要があります。とはいえ、初心者の方にとっては、そもそも育成が難しかったり、すでに遊んでいる方にとってはウマ娘も多くなってきた今、時間をかけてプレイして、沢山のウマ娘を育成するのが難しいという点があったかと思えます。

しかし、そういった悩みを解決し、さらに多くの方が遊びやすくなる機能が、4周年を迎えたタイミングで追加されたのです。

ついに育成がおまかせで
気軽にできるよっ！

「おまかせ育成機能」の追加

まず一つ目は、新機能「おまかせ育成」です。この機能はその名の通り、自動で育成を進めてくれる機能です。従来の育成では、育成を始めるとトレーニングなどのコマンドやストーリーの中の選択肢を選ぶ操作が必要になり、おおよそ1回の育成で30分前後の時間を要していました。もちろんこの選択肢によつてウマ娘たちがどう成長していくかをじっくり考えながらプレイするのも楽しい部分ではあるのですが、ウマ娘の数も増えてきた今、中々育成が進まな



「おまかせ育成」画面より



「育成シナリオ」画面より

い、という一面もあったのです。しかし今回実装された「おまかせ育成」を使うと、ボタンを押して画面を開いて20分前後放置しているだけで育成が勝手に進んでウマ娘を育てることが出来るのです！

操作はとても簡単で、ゲーム画面トップから育成に進み、育成するウマ娘を選択。継承ウマ娘を選び、使用するサポートカードを選んだら、あとは画面右上に表示された「おまかせ育成」のボタンを押すだけ。これだけで最初から最後まで、自動で育成を進めてくれます。

「おまかせ育成」ではプランを選ぶことができ、バランスよく育成を行うプラン、スキルヒン

トの習得を重視するプラン、パラメータの獲得を重視するプランの3つのプランがあり、自身を選んでプランに合わせて育成を進めてくれます。さらに、3つのプラン以外にも自身でおまかせ育成の方針をカスタマイズするプランもあり、よりこだわってウマ娘を育成したい方はそちらを使うことで自分が欲しい因子を持ったウマ娘を狙って育成することも可能となります。

実際に「おまかせ育成」を使用してみた感想としては、他のユーザーと競うためにこだわってウマ娘を育成する場合にはやはり自身で育成したほうが良いと感じるものの、因子をそろえるためや、日ごろ気軽にウマ娘



「サポート編成」画面より



「レンタルデッキ」画面より

を楽しみたい、という方にはぴったりな機能だと感じました。今までウマ娘の育成に対して難しいという印象を持っていた方も、ぜひ気軽にプレイしやすくなったこの機能を使って育成を進めてみてください。(*)

※「おまかせ育成」は、現時点では後述の新育成シナリオ「The Twinkle Legends」と「URAファイナルズ」の2つのシナリオでのみ使える機能になります。

初心者の方も、 久しぶりに遊ぶ方も安心。 「レンタルデッキ」を使って育成

新ウマ娘の情報や、「おまかせ育成」の機能追加を見て、初めて、もしくは久しぶりに『ウマ娘』をやってみようかと思っただ方におすすめしたい2つ目の新機能が「レンタルデッキ」です。いざ、「ウマ娘」のゲームで遊んでみようと思っただけ、必要になるのは育成ウマ娘とサポートカード。育成ウマ娘は最初にもらえる交換チケットやガチャチケット、無償ジュエルを使用して、まずは1人ウマ娘を手に入れればひとまず問題ないのですが、数あるサポートカードの中から、自分が使用したいカードを用意するには時間がかかっていったと思います。そこで、今回追加された「レンタルデッキ」の順番です。「レンタルデッキ」とは、育

成に必要な6枚のサポートカードのうち、5枚のカードがセットになったもの(デッキ)を一時的に借りて育成に使える機能です。万能な汎用デッキの他、距離別のおすすめカードで組まれたデッキを選んで育成することもできます。この「レンタルデッキ」嬉しいのがレアリティの高いSSRサポートカードも含めた編成になっていること。なお6枚目の枠は他にゲームを遊んでいるプレイヤーのカードをレンタルすることが出来るので、サポートカードを1枚も持っていないなくても、育成が出来るようになります。

悩んだら汎用のデッキを使い、距離に合わせて育成したいと思っただけの場合はそれに対応した「レンタルデッキ」を使えば、サポートカードをあまり持っていない人でも怖いものはありません...! まずは「レンタルデッキ」でゲームを遊びながら、コツコツカードを集めて自分だけのカード編成を作り上げていくといいと思います。

もちろん、他にも便利な機能が追加されており、イベントで発生する選択肢を選んだ際に得られる効果がわかる、新機能「選択肢効果表示」もそのうちの1つです。また、獲得する因子を育成完了時に指定できるようになる「因子指定」機能など、ゲームをよりやり込める



要素も追加されたので、今まで『ウマ娘』を遊ばれていた方にも十分に楽しんでいただけるアップデートとなっています。

遊びやすくなった『ウマ娘』で今、遊ぶなら。

『ウマ娘』では現在、4か月に1度育成シナリオが更新されているのですが、4周年のタイミングでは、「The Twinkle Legends」という新育成シナリオが追加されました。今回はレジェンドと呼ばれるウマ娘、セントライト、スピードシンボリ、ハイセイコーという3人の錚々たるウマ娘たちがストーリー内に登場。また、シナリオの終盤にはアーモンドアイが登場するイベントも隠し要素として存在しており、是非皆さまには遊んでいただきたいシナリオになっています。



ここまでこの2月に追加された新機能を中心にご紹介してきました。5年目を歩み始めた『ウマ娘』はこれからもゲームファン、競馬ファンをも楽しませるコンテンツに進化し続けてくれるでしょう。今年はゲーム以外にも、アニメ「ウマ娘 シンデレラグレイ」の放送もありますので、是非、『ウマ娘』の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



好きよ、レース——だって楽しいじゃない？勝負するのも、勝つのも



Almond Eye

アーモンドアイ

CV：石原夏織

誕生日 3月10日

身長 163cm

体重 完璧、よ

スリーサイズ B86・W57・H81

プロフィール

文武両道にしてスター性兼備、あらゆる方面で完璧な超絶優等生。ただしそれは彼女が『超』が9個ほどつくレベルの『負けず嫌い』であるからこそその結果。負けん気が強すぎて完璧主義のきらいがあったり、体力以上の無茶をしがちなのが玉にキズ。

勝負服について

勝負服は水色の生地をベースに赤いボタンを配してシルクホースクラブカラーにまとめつつ、白のシャドーロールをカチューシャに取り入れています。

G19勝という偉業にちなみ、首元のアクセサリは9つの菱型＋王冠で構成されています。

『ウマ娘』イラストチーム

サポートカード【SSR【世界を変える眼差し】アーモンドアイ】



ウマ娘・アーモンドアイ

サンスポ板津記者寄稿

4周年を迎えたゲーム『ウマ娘 プリティーダービー』に、新たなウマ娘の登場です。しかも、シルク・ホースクラブの象徴的存在。GI9勝の金字塔を打ち立てたアーモンドアイです。

千年、いや一万年に1人のアイドルのように皆を惹きつけるそのビジュアル。何より特徴的な瞳は見るものを虜にしています。勝負服姿は、シルクレーシングの水色と赤を基調としたもので、ところどころに取り入れられた黒のデザインは、競走馬アーモンドアイがレースや追い切り時に装着していた黒いメ

ンコをイメージしたものでしょうか。首元のアクセサリは形状からするとGI9勝を表しているようです。

ウマ娘・アーモンドアイのキャラクターはというと、まさに完全無欠。天才的な素質を持ちながら、強さを追求するための努力や知識においても妥協は一切なし。究極の負けず嫌いです。では、競走馬・アーモンドアイはどうなのだろう。トレセンで一番長く接してきた国枝栄厩舎の根岸真彦調教助手に、現役時代のことを改めて聞いてきました。

「オンとオフがはっきりしている子でした。普段、角馬場ではぼけーっとしていたというか。ダクも全然しないし、キャ

ンターもハミを取らず進んでいかなかったりで。でもコースに出れば真面目で一生懸命。いつでも動けますよという感じでした。当時、Wコースに自動計測が導入されていけば、ラスト1ハロン10秒台をバンバン出していたんじゃないですか。やっぱり走るフォームが(他の馬とは)違いましたから」

賢いから、無駄な力は使わない。きつと力を入れるところ、抜くところが分かっていたのでしよう。若い頃は装鞍所でうるさかったり、パドックでチャカつくこともあったようですが、古馬になってからは「ジョッキーが跨るとスイッチが入る」理想的なアスリートへと成長したようです。

戦歴を振り返れば、衝撃的な差し切りで九冠伝説の始まりとなったシンザン記念、ノーステッキで大外から突き抜けた桜花賞、芝2400mの世界レコードとなる2分20秒6で駆け抜けた3歳時のジャパンC、連覇で日本馬最多の芝GI8勝目を挙げた天皇賞・秋。アーモンドアイにはハイライトとなるようなシーンがいくつもありませんが、その中で根岸助手が印象深いレースに挙げたのが、史上5頭目の牝馬三冠を達成した秋華賞。

当時は蹄に問題を抱え、ひとつ進めば、ひとつ後退するような綱渡りの調整過程。装蹄師と

試行錯誤しながら何とかレースへ送り出したものの、最終追い切りをいつもと違う坂路で行うなど、調整の難しさを感じていたそう。

「満足に乗り込めていない中で、競馬にいつてもうるさくて。ゲート裏ではルメール騎手も大変そうでした。そんな状態で、あのパフォーマンス。すごい馬だなと感じました」

もちろんアーモンドアイなら、という気持ちはあつたはず。それでも、不安を抱えた中で、絶妙なペースで逃げた2着馬ミツキチャーラムを風のように並ぶ間もなくかわし去った走りは、歴戦のホースマンにとっても人知を超えたものに映ったに違いありません。

また、コントレイル、デアリングタクトとの三冠馬対決となったラストランのジャパンCも「すごいメンバーでしたし、やはり印象深いレース。コロナ禍でなければ、もっとたくさんファンが見に来て盛り上がったでしょうね」と根岸助手は思い起こしていました。

ちなみに、未勝利戦からの連勝が「7」でストップした2019年の安田記念(3着)はスタート直後の不利や、直線で包まれて脚を余し気味だったこともあり、「走り切っていないせいか、レース後はイラついている感じでした」。そこは負けず嫌いの性格の表れなので

しよう。

のちに殿堂入りも果たした九冠牝馬は、厩舎内で「アーモンドアイ」もしくは「アーモンド」と呼ばれているそう。「馬房から顔を出してリラックスモードのときは誰にでも平気で顔を触らせたり、ファンサービスをしていたんですよ。でも、手入れされるのは嫌いで、体をさわろうとするのが嫌がるんです(笑)。完璧なファンサができて、ターフというステージでも華やかなパフォーマンスを演じられるなんて、まさにスーパーアイドルですね。

さて、ウマ娘の方では「アイ」の愛称で親しまれるアーモンドアイも、どのようにトップへと上り詰めていくのか。ゲームで紡がれていくストーリーが楽しみでならないです。

© Cygames, Inc.



板津 雄志 Takashi Itazu

1979年岐阜県生まれ。サンケイスポーツ競馬記者。現在はフジテレビ「みんなのKEIBA」、「BSイレブン競馬中継」に不定期出演。好きな馬はスリーブトウショウ、イクイノックス。熱心なウマ娘「ユウザ」で、知らないところで美浦トレセンウマ娘部の会長に祭り上げられた。



勝負服